

サーキュラーエコノミーを実現を目指す新たな産学官連携プラットフォームを構築

- ▶ CE実現に直結するリマンにフォーカスした連携拠点を構築し多角的交流機会を創出
- ▶ リマン技術のシーズ・ニーズマッチング機能とベストプラクティスの共有
- ▶ CEを推進するための政策提言・標準化を含むリマン社会構築の潮流形成

CE実現に不可欠なリマン技術

リマニュファクチャリング（リマン）はサーキュラーエコノミー（CE）の省資源実現の鍵を握り、CE時代のものづくり競争力を強化します。リマンを強力に推進するためには、技術開発、技術統合、設計・計画、ビジネスモデル設計、標準化、制度設計が必要であり、産学官の連携が必須である中、諸外国では既にアメリカ、欧州、シンガポール、中国にリマンに関する産学官連携拠点が形成されている一方、日本国内には未だなく産業界からも日本に連携拠点を形成する期待が高まっています。



政策動向
G7エルマウサミット(2015.6)では、G7文書として初めてリマンに言及



産学官の会議
米国や欧州において国際的な産学官の会議の開催



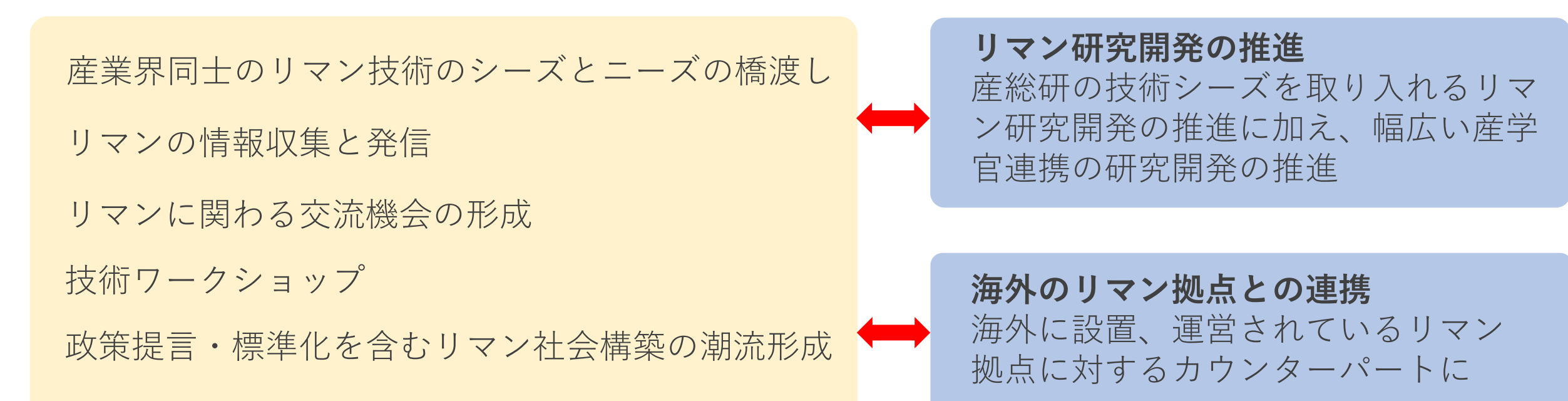
Singapore ARTC

研究開発拠点の形成
シンガポール政府は2012年にA*Star傘下にARTC (Advanced Remanufacturing & Technology Centre) 研究所を設立

リマンに対する諸外国の取り組み

日本国内におけるリマン推進への取り組みを開始

RECO consortium リマニュファクチャリング推進コンソーシアム



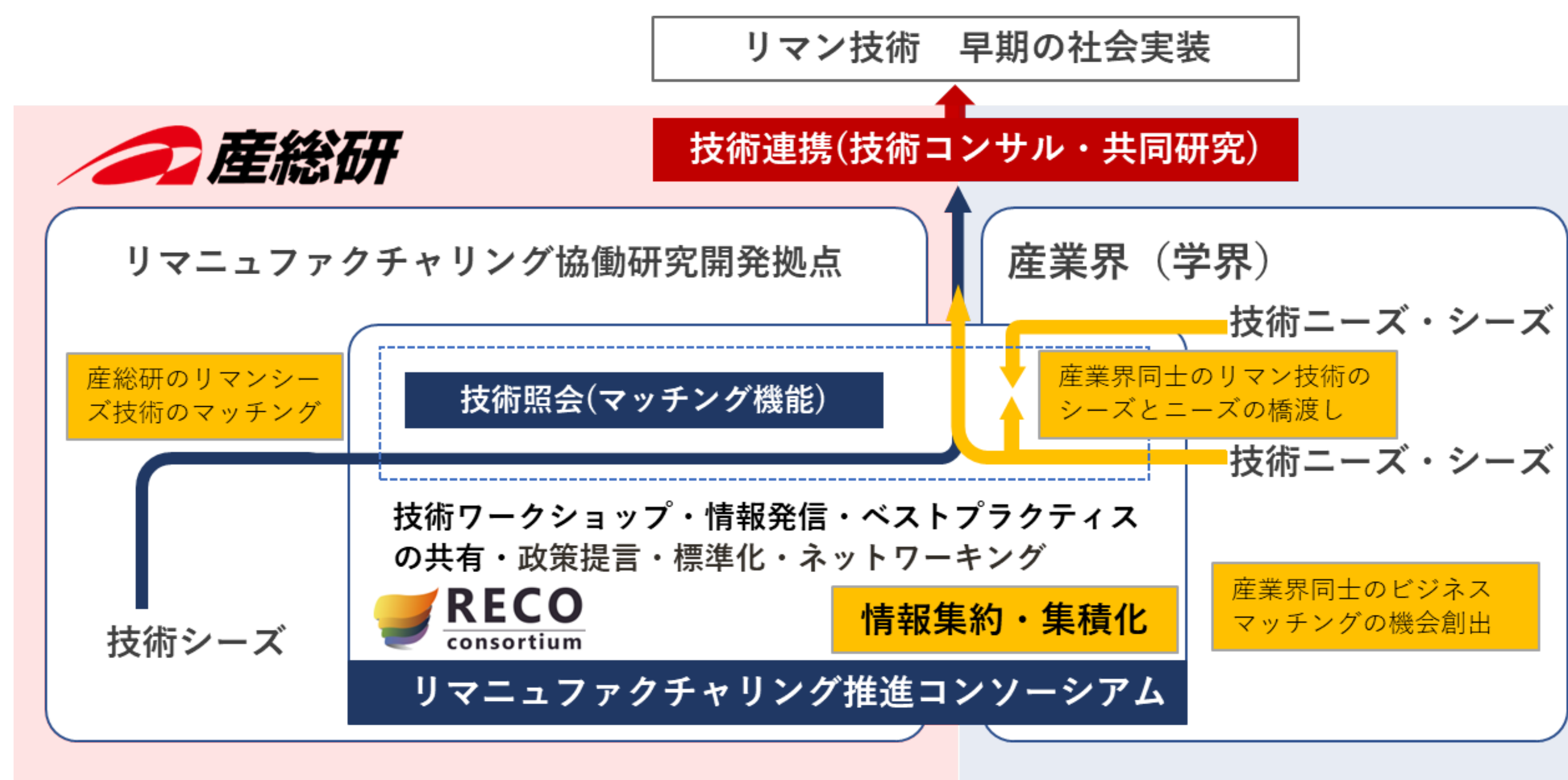
リマンに関連する産学官の情報共有と議論を行う場を国内で提供し、早期のサーキュラーエコノミー実現を目指したリマン研究開発推進のための統合環境の構築と支援を目的としたコンソーシアム形成を検討

産総研製造技術研究部門が中心となってリマン推進を目指す日本国内の取り組みを開始し、リマンシンポジウム(年1回)を開催。第2回となる2024年2月13日には245名(84社/団体)の多くの参加を頂き活発な討議が始まっています。この流れを受け、産総研ではより活動を活発化するためリマニュファクチャリング推進コンソーシアム(RECO)を設立し(2024年10月)、多角多面的な取り組みを開始しました。

v8-fを通じたリマン技術の社会実装への期待

リマン技術を社会実装していくためには極めて多岐に渡る技術とビジネス成立へ向けた協業が必要となります。そのためのプラットフォームとして本コンソーシアムが良質なネットワーキング機能を発揮し、産総研-産業界の関係のみならず産業界同士の連携強化にもその役割を果たし、早期の社会実装へ向けて機能することを期待します。

(RECO入会のご案内)
一般会員法人 10万円, 中小企業会員 5万円(令和6年度会費は半額)*その他、会員種別詳細や規約等に関しましてはご案内パンフレットをご参照下さい
(第3回リマンシンポジウムのご案内)
2025年2月17日(月)[日本科学未来館]を予定しています。



RECOを通じたリマン推進スキーム

